

桑名市総合計画について

令和 7 年 3 月 21 日

市長公室 政策創造課

1. 総合計画について

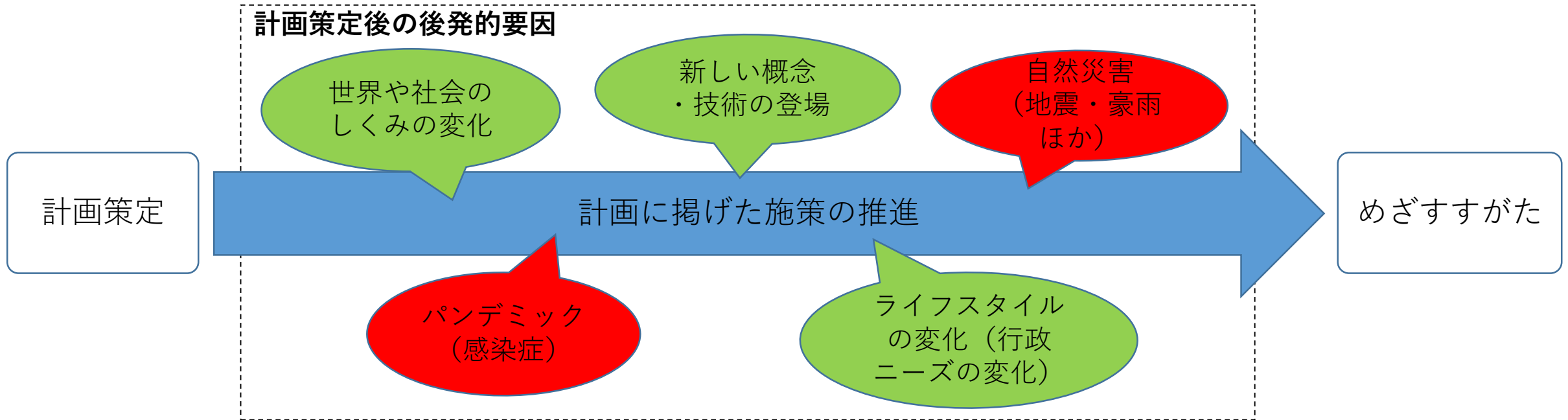
(1) 総合計画

- 地方自治体の行政運営の総合的な指針となる計画
地方公共団体が策定する各種計画は、最上位に位置付けられた総合計画と整合性を図りながら策定
- 平成23年5月の地方自治法の改正により、策定の義務付けは廃止

(2) 桑名市総合計画

- 平成24年12月に、7つのビジョンを掲げて伊藤市長が就任
- 市がめざすすがたを広く内外に共有するため、平成25～26年度で計画策定
- 計画期間は、平成27年度～令和6年度までの10年間

2. 計画に基づく行政運営について



社会は常に変化しており、近年、その変化は激しさを増している。

⇒ めざすすがたや喫緊の課題に対して、**計画期間に縛られることなく、スピード感と柔軟性をもった施策展開が求められている。**

3. 時代の変化への対応について

【策定当初】

【基本構想】

- ・ 基本理念
- ・ 目指す姿の将来像
- ・ まちづくりの基本視点
- ・ 7つのビジョン

基本計画
実施計画

最新の行政ニーズ等を盛り込みながら変化に適応してきた。
(今後も新しい考えを取り入れていく)

【R6年度末】

【基本構想】

- ・ 基本理念
- ・ 目指す姿の将来像
- ・ まちづくりの基本視点
- ・ 7つのビジョン

10年間で総合計画に
もとづいたまちづくりは
十分に浸透

3本の柱

3つのミッション

11の重点
プロジェクト

SDGsの理念

国際化
多文化共生

WELL-being
(女性/子ども/孤独・孤立ほか)

人口減少対策P

保育の充実

基本計画
実施計画

4. 令和7年度以降のまちづくりについて

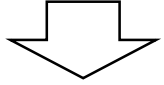


本物力こそ桑名力

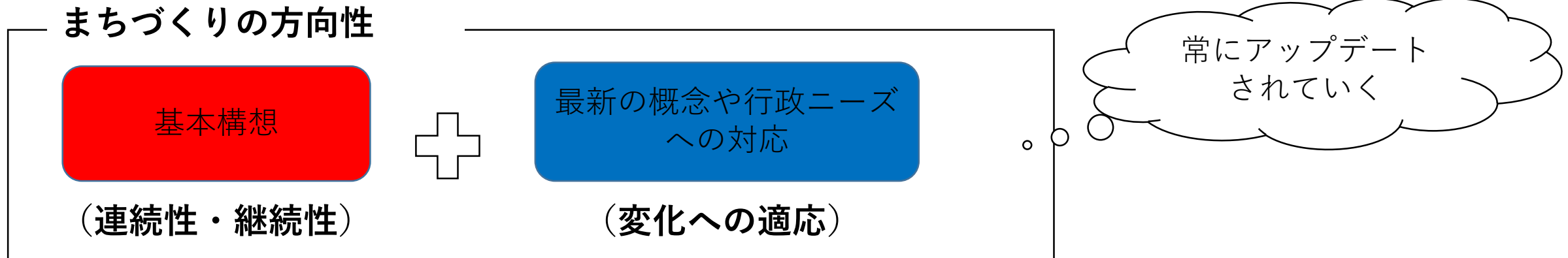
○10年間で計画にもとづくまちづくりは充分浸透。今後も大きく変わるものではない。

①現計画の基本構想にあたる部分をベースとして堅持（施策の連続性・事業の継続性）

②今後も常に最新の概念や行政ニーズを取り入れながらアップデート



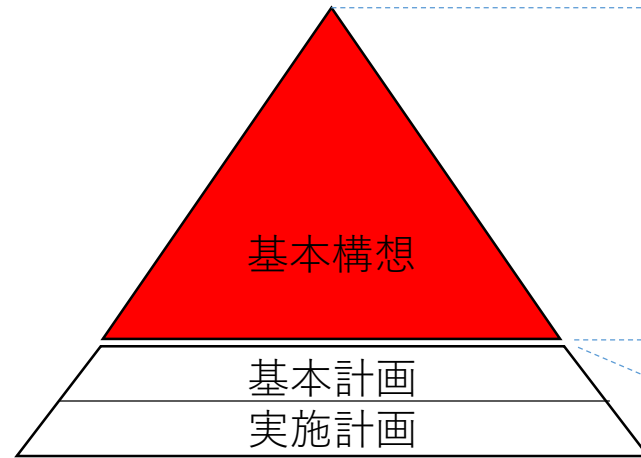
◎新たに総合計画の策定は行わない。また現計画の延長も行わない。



◎『まちづくりの方向性』を参照しながら、スピード感と柔軟性をもった施策を展開することで、変化の激しい時代を乗り越えていく。

5. 「まちづくりの方向性」と施策の展開について

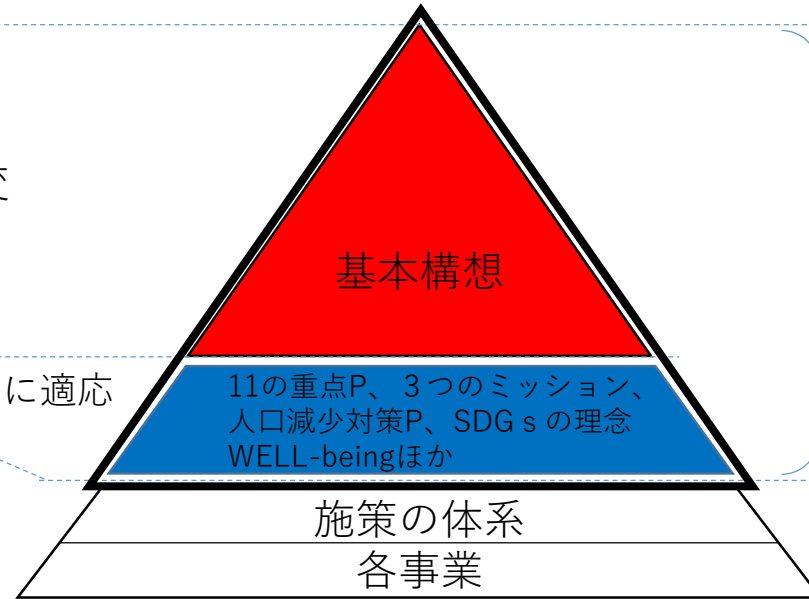
【現総合計画の策定当初】



【R7年度以降】

不変

変化に適応



まちづくりの方向性

基本構想を堅持（**継続性・連続性**）
＋
常に最新の概念や行政ニーズを取り入れながらアップデート
（**変化への適応**）

予算編成の中で、「まちづくりの方向性」との整合性を図りながら推進

（施策の展開）

- 毎年度の予算編成の中で、『まちづくりの方向性』との整合性を図っていく。
- 事業の成果（アウトカム、満足度、利用者の声など）のほか、社会や市民ニーズの変化に対して常に改善していく。